

神学科 ディプロマ・ポリシー (DP)、カリキュラム・ポリシー (CP)及びアセスメント・ポリシー

DP		CP 編成方針	アセスメント・ポリシー			
第一層	A	幅広い教養と専門的知識・技能を身に付けている。	<p>卒業認定・学位授与の方針に示す質的水準の達成状況である学生の学修成果としての各資質・能力については、下表に定めるとおり、各授業科目の到達目標に対する学修者の到達度について実施されるDP観点別評価の結果を集約するとともに、本学が定める大学のアセスメントマップに示す各種調査などを必要に応じて用いることによって、その修得状況を把握し可視化する。</p> <p>また、本学科の教育内容・活動については、把握・可視化した学修成果をふまえ、アセスメントマップに示す各種調査などを用いることで、多角的に検証する。</p> <p>その検証結果は、自己点検・評価活動やFD活動において、本学科の教育改革・改善に資するよう活用する。</p>			
	B	学びと研究の質を高めることができる思考力・判断力・表現力等を幅広く身に付けている。				
	C	地域社会及び国内外の諸課題の解決に主体的・創造的に参画・貢献することができる。				
	D	自己の成長と社会の発展のために、自律的に学び続ける態度を身に付けている。				
			学修成果を測定する方法			
第二層 (共通科目)	A-1	幅広い学問領域の基本的な概念や理論を修得し、教養としての知識・技能を身に付けることで、社会現象を多面的に理解することができる。	主に人文科学、社会科学および自然科学の各分野を中心とした、学問の基本的な概念や理論を修得するための科目を、選択必修として1年次から配置する。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「知識・技能」の学修成果を測定する。	教養科目	
	B-1	学びや研究の基盤となる思考力・判断力・表現力を獲得し、幅広い領域に活用することができる。	リテラシー領域を設け、学びと研究の基盤となる思考力・判断力・表現力を修得するための科目を、必修および選択必修として1年次および2年次を中心に配置する。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「思考力・判断力・表現力等」の学修成果を測定するとともに、外部検定試験や外部アセスメントテストの結果も活用する。	外国語 データリテラシー スタディスキル ヘルシオリテラシー	
	C-1	修得した資質・能力を主体的に活用し、多様な人々と協働しながら実際の課題に取り組み、創造的に課題解決に向かうことができる。	実習、演習、インターンシップ、ボランティアなどを中心とした、創造的に思考する力や他者と協働する力を修得するための基礎から発展への科目を、1年次から段階的に配置する。	各科目におけるグループワークや研究発表、実演等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「総合的な学修経験・創造性」の学修成果を測定する。	ライフデザイン応用	
	D-1	社会的課題やそれに対する学習・研究を通して、我々の生き方の指針を深く考え、自律的に真理を探究し続けることができる。	ライフデザイン領域を設け、生き方の指針および学び続ける態度を修得するための科目を、必修および選択必修として1年次および2年次を中心に配置する。	各科目における小テスト、レポート、定期テスト、研究発表等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「態度・志向性」の学修成果を測定する。	キリスト教 ライフデザイン基礎 西南学院史	
第二層 (専攻科目)				A	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「知識・技能」の学修成果を測定する。	
	A-2	聖書の学びに精通し、特にバプテスマの信仰理解に精通し、信仰の歴史的・神学的問題を多面的に理解することができる。	キリスト教精神に基づく幅広い教養を身に付けるための専門基本科目及び神学を学ぶ上で不可欠なツールである古典語学や基礎的な現代語学に習熟するための古典語学・外書講読科目を配置する。	A-2	聖書古典語学に関する知識を養成する科目においては小テスト、もしくは定期テストによって、またバプテスマの歴史に関する科目においては学修者自身の信仰理解をも論述する試験等によって、学修成果を測定する。	ヘブライ語 ギリシア語 バプテスマ史
	A-3	人文学、特にキリスト教思想・哲学・芸術を中心とする分野の知識と技能を適切に獲得・活用することができる。	聖書学・キリスト教歴史学・キリスト教神学の部門を土台として、オリエント学・西洋古典学・キリスト教文学・音楽・美術等、更には総合的な人間学を学び、幅広くキリスト教を基礎とした人文学を学修するための科目を配置する。	A-3	キリスト教の文化、思想に関する知識を養成する科目において、それらの歴史的展開に関する知識に加え、学修者自身の説を論述する試験等によって、学修成果を測定する。	総合人間学 日本キリスト教史 キリスト教音楽
				B	各科目における小テスト、レポート、定期テスト等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「思考力・判断力・表現力等」の学修成果を測定する。	
	B-2	神学的思考力を備えて批判的判断を重ね、キリスト教精神を究明し、それを発信することができる。	聖書の学びに精通するための聖書学科目及び歴史における信仰・神学の諸問題に精通し、今日の諸問題と切り結ぶための歴史神学科目を配置する。	B-2	キリスト教神学に関する思考力を養成する科目において、毎授業リアクションペーパーやケーススタディに応じた小テストを用い、その都度の思考力の伸長度を確認し、学修成果を測定する。	旧約釈義 新約釈義
	B-3	神学分野に関連する人文学の領域の諸科学の思考・判断・表現等の方法を獲得・活用することができる。	諸学、特に人文学の諸領域の諸科学と対話しながら、人間と世界を正しく理解する力を身に付けるためのキリスト教人文学科目を配置する。	B-3	キリスト教人文学に関する思考力を養成する科目において、毎授業リアクションペーパーやケーススタディに応じた小テストを用い、その都度の思考力の伸長度を確認し、学修成果を測定する。	宗教学 文化人類学
				C	各科目におけるグループワークや研究発表、実演等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「総合的な学修経験・創造性」の学修成果を測定する。	
	C-2	神が全世界を創造されたことに応答し、被造物と共に生きることを目指して、その祝福・平安・保全に対する責任を担うことができる。	主体的自覚的な課題抽出力を磨き、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を鍛えるための特殊科目を配置する。	C-2	演習において、学修者の発表・実演や授業への参加態度及び学修者による報告書等によって学修成果を測定する。	カウンセリング
	C-3	精神文化の形成、倫理、道徳の向上に向け、広く歴史・世界に働かされる神のわざに仕える創造的な奉仕をすることができる。	キリスト教信仰の普遍性を踏まえ、国際感覚豊かな、社会奉仕の精神を持つ人となるための科目を配置する。	C-3	調査・報告・討論や模擬の実践・検証、また実習等を活用する科目において、学修者自身による自己評価及び学修者相互の評価等を用いて、学修成果を測定する。	特殊講義 現代社会とキリスト教
				D	各科目におけるレポートや研究発表等によって、到達状況をDP観点別に評価した結果を集約し、学年別及び全学年を通して「態度・志向性」の学修成果を測定する。	
D-2	イエス・キリストの解放の福音から押し出されて、日本、そして世界における平和の創造、人権の擁護、福祉の促進を追求し続けることができる。	日本そして世界の精神文化の形成、倫理・道徳の向上、平和と福祉の促進に貢献する人となるためにキリスト教精神を身に付けるための組織神学科目を配置する。	D-2	卒業論文においては、先行研究の精査や主題の独創性及び学問的意味をふまえ、学修成果を測定する。	卒業論文	
D-3	キリスト教界の指導者、教会の伝道者・牧師などの専門職業人として社会に貢献する態度を身に付けている。	教会の基本的な働きである伝道・礼拝・宣教・牧会などを学び、平和・人権の課題に取り組み、社会に貢献できるキリスト教界の専門職業人となるための技術を身に付けるための実践神学科目を配置する。	D-3			
D-4	キリスト教精神を基盤としたリーダーシップと真摯な探求心で社会に貢献する態度を身に付けている。	幅広い教養を培うため、また、実践的な課題を射程に置いた倫理的な教育を行うための科目を配置する。	D-4	キリスト教精神の実践や倫理的活動に関する科目において、レポートや発表等によって、学修すべき事柄に対する知識や思考力のみならず、リーダーシップがどの程度主体的に形成されたか、どのような志向性を抱くにいったか等ふまえ、学修成果を測定する。	キリスト教倫理学 実践神学	